科目名	経営史　　Business History						
科目担当者	本田 信雄　　HONDA Nobuo						
単位数	2	配当年次	２年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	企業はどのような発展の道を辿ってきたのか、また今後どのような経営を行なっていくべきなのか。このような疑問を明らかにするためには、まず諸産業における企業経営の歴史について知る必要がある。 本講義では、欧米における企業経営の発展について歴史的に検討していく。取り扱う内容は、主にアメリカにおける各産業(運河・鉄道、鉄鋼業、石油産業、化学産業、自動車産業、電気機器産業、ＩＴ産業)の企業経営の発展についてである。講義序盤では、イギリスの発展についても少し観ていく。さらに、講義の終盤では、激化する最近の企業間競争・国際競争についても説明していく。						
授業の到達目標	①欧米における各産業の企業経営発展の歴史および経営戦略等を学び、理解する。 ②(①に基づいて)企業経営のあるべき姿について考え、理解する。						

授業計画・内容		
	1	欧米における企業経営発展についての概説
	2	アメリカにおける企業経営の発展(１)－交通・輸送機関の発展(運河・鉄道)
	3	アメリカにおける企業経営の発展(２)－鉄鋼業①(発展の歴史とその要因)
	4	アメリカにおける企業経営の発展(３)－鉄鋼業②(カーネギーの経営戦略、カーネギー社の発展)
	5	アメリカにおける企業経営の発展(４)－石油産業①(発展の歴史とその概略)
	6	アメリカにおける企業経営の発展(５)－石油産業②(ロックフェラーの経営戦略、スタンダード・オイル・トラスト)
	7	アメリカにおける企業経営の発展(６)－化学産業①(発展の歴史とその概略)
	8	アメリカにおける企業経営の発展(７)－化学産業②(デュポン社とその多角化)
	9	アメリカにおける企業経営の発展(８)－自動車産業①(発展の歴史とその概略、フォード社)
	10	アメリカにおける企業経営の発展(９)－自動車産業②(フォード社と GM 社の経営戦略)
	11	アメリカにおける企業経営の発展(１０)－電気機器産業①(発展の歴史とその概略)
	12	アメリカにおける企業経営の発展(１１)－電気機器産業②(ＧＥ社の経営戦略)
	13	アメリカにおける企業経営の発展(１２)－ＩＴ産業①(発展の歴史とその概略、IBM)
	14	アメリカにおける企業経営の発展(１３)－ＩＴ産業②(インテル、マイクロソフト等)
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	テキスト、配布資料に目を通し、専門用語等を調べておく　(毎週２時間)
授業外学修 (事後学修)	テキスト、配布資料・講義内容ノートに目を通し、課題実施に備えておく(毎週２時間)

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	後期末定期試験(またはレポート) 講義時の課題(レポートまたは小テストを計 6 回)	50% 50%	①② ①②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	安部悦生・壽永欣三郎・山口一臣・宇田理・高橋清美・宮田憲一『ケースブック　アメリカ経営史(新版)』有斐閣 ※その他、必要に応じて資料を配布します。
参考文献	なし
その他	